

平成 27 年度 第 2 回高知市総合教育会議 議事録（要約版）

- 1 日 時 平成 27 年 8 月 27 日（木）
開会：午後 3 時 00 分 閉会：午後 4 時 00 分
- 2 開催場所 高知市役所たかじょう庁舎 6 階大会議室
- 3 出席者
(構成員) 高知市長 岡崎 誠也
高知市教育委員会
教育委員長 谷 智子
委 員 山本 和正
委 員 西森 やよい
委 員 野並 誠二
教 育 長 松原 和廣

(事務局) 総務部長 山本 正篤
総務部副部長 森田 洋介
総務部総合政策課長 林 充
総務部総合政策課長補佐 村田 憲司
総務部総合政策課文化振興担当係長 藤原 美穂
- 4 議 題 「高知市教育大綱（案）」について

5 議事の経過

- 高知市教育大綱案について
事務局から資料に沿って説明

- 協議

- 大綱案全体について

- ・基本的な方針だけを決めるのか、細かいところまで決めていくか。

- (山本委員) 基本理念に細かいところまで入れる必要なし。

- 一般の人から見て分かりやすい表現であることが望ましい。
小さいことは基本目標に随時取り込んでいくのが分かりやすいのではないか。

- (野並委員) 県都として高知市がリードしていくようなものを示すのが大事。

- 細かいことに走らないで、全体を、原則を決めていくという考え方がよろしいのではないか。

- (西森委員) 大枠を決めるという方向性でいいのではないか。

- (松原教育長) 大綱は、大きくとらえていく必要がある。
普遍的な、教育として価値のある問題を大綱に盛り込んでいくのがよい。
- (谷委員長) あまり細かい内容や施策、取組などは必要ない。
学校、家庭、地域の連携、協働による教育や子育ての推進などといった視点がどこかにあるといいと思うが、どうしても取り入れてほしいということではない。

○基本理念について

- (岡崎市長) 進取、自立という言葉には、高知のアイデンティティが出ている。
- (松原教育長) 基本理念の中の1行目が、高知らしさを出している。
- (谷委員長) 「進取の精神」は物事の本質や先を見通し、自分や全体の進み方を見極めるものであり、また、自立ということも必要である。すばらしい基本理念だと思う。
- (西森委員) 最終的には自立できる人間になることがとても重要。
- (山本委員) 子どもが勉強できる環境を作っていくのが我々大人の勤めである。どのような環境でも子どもたちが等しく教育を受けられるといったことを、基本理念の中に網羅されていることが大事だと思う。
- (野並委員) 次世代の子どもたちは、必ずや南海トラフの地震をむかえるので、精神力や助け合いといったものを反映・育成するような、何か具体的なものを入れてもいいのではないか

・野並委員の発言に関連して

- (岡崎市長) 震災等が発生した後、まちを復興していくためには不屈の闘志、強い意志が必要である。
基本目標に入れるか、基本理念に入れるか検討が必要。
- (松原教育長) 基本目標に入れたほうが落ち着くのではないか。
- (西森委員) 教育基本法制定ときに想定していなかった事態に直面していることから、教育基本法の理念から一歩進めたことをここに入れるべきであり、基本理念が教育基本法から来ているのであれば、基本理念に入れるのがいいのではないか。
- (松原教育長) 不屈の精神では言葉が強すぎる気がする。
- (西森委員) 生きる力、生き抜く力としてもよいのでは。
- (岡崎市長) 基本理念に盛り込むか、基本目標に盛り込むかは今後検討する。

○基本目標について

・就学前教育の重要性について

- (谷教育長) 幼稚園・小・中・、保育園の教育をどのようにするかとい

うことは、小学校との連携もあわせて、重要なことである。

(岡崎市長) 認定子ども園の制度も始まり、保育と教育の質の向上は今後、重要になってくる。文言として取り入れたほうがよい。

(松原教育長) 教育大綱そのものは、学校教育を縛る目標であり、保育は組織が違うところもあるので、幼児教育という形にしたほうがいいのではないか。

・学校・家庭・地域との連携について

(松原教育長, 谷委員長, 岡崎市長)

文言として、基本目標に入れたほうがよい。

・子どもたちの貧困の連鎖をどう断ち切るかという問題について

(松原教育長) 子どもたちの貧困の連鎖をどう断ち切っていくのかという問題も基本目標の中にあってもいいのではないか。

(谷委員長) 直接的な言葉を基本目標に入れるのは少しおかしい。

(岡崎市長) 「すべての子どもたちが輝く」など、言葉を置き換えてはどうか。

● まとめ

本日のご意見について事務局で整理し、修正案を作成し、次回会議において議論を行う。